



最後の懇談会が開かれた射添小学校



ヤングケアラーって？

再編問題の懇談会を、小代小・香住小を除き、昨年8月から本年5月に



岸本 正人 議員

学校再編問題のその後の進捗は 組合せと時期の案をまとめ中です

かけて計8校開催された。どんな感想を持ったのか。また、計画、構想は進んでいるのか。この夏休み中の公表予定であったが進捗状況を問う。令和9年度までの推計では、再編なしでは、0人の学年が3校、1人の学年が8校となる。7年間・8

年間（幼稚園は1・2年制あり）ずっと、1人の学年は、私に言わせればそれは悲劇だ。
教育長 8校の懇談会では、若干の地域差はありましたが、できるだけ早く再編を望む意見が多かったと感じています。少数ながら存続を望む方



や、しばらくは維持を望む方もいました。幼稚園児・児童数の推移。アンケート結果・懇談会意見などを総合的に勘案し、現在組合せと、再編の目標時期の素案をまとめています。教育委員・校長会・町長判断を仰いで、この夏に発表する予定です。



西谷 高弘 議員

本町にヤングケアラーの対象者は 調査では対象家族はありません

ヤングケアラーは、18歳未満の子どもで例として障害や病気のある家族の代わりに、買い物や料理など家事や幼い兄弟の世話家族の入浴やトイレの介護を行うケースが代

表としている。本来大人が担うべきことに向き合う子どもへの支援の必要性が指摘されている。本町として①ヤングケアラーの調査は。②早期発見や把握の確認は。③福祉・介護・教育など関係機関の連携や研修会は。④スクールソーシャルワーカーの設置は。
町長 県より実態調査の依頼があり、調査は個別訪問など直接聞き

取りでなく、アンケートにより、民生委員・児童委員・地域包括支援センター、介護支援専門委員、障害者相談支援専門員、要保護児童対策地域協議会などで調査し結果、ヤングケアラーに相当する家族はありませんでした。地域でも大人がアンテナを張りSOSに気づくような配慮が重要であり、学校、地域、町地域包括支援センター、町基



幹相談支援センターや県などと連携を図り、学校では教職員への研修を行います。
教育長 スクールソーシャルワーカーは平成30年度から1名配置しており各中学校に週1回勤務で活動しています。